

製品名: GPR158 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00401**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 135 kDa; Observed MW: 150 kDa

抗原情報

遺伝子名	GPR158
別名	Probable G-protein coupled receptor 158
遺伝子 ID	57512
SwissProt ID	Q5T848
免疫原	抗血清はヒト GPR158 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

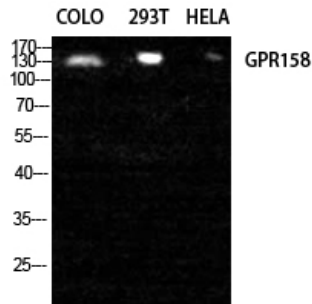
背景

オーファン受容体。

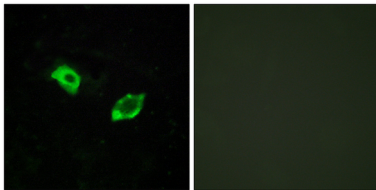
研究分野

神経科学

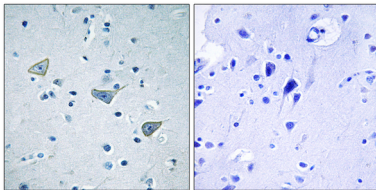
画像データ



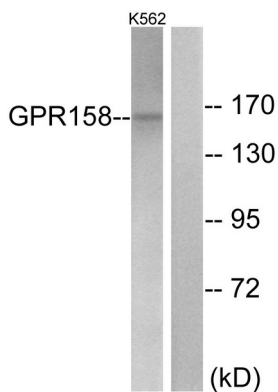
GPR158 抗体を使用した COLO、293T、HELA 溶解物中の GPR158 のウエスタン ブロット分析。



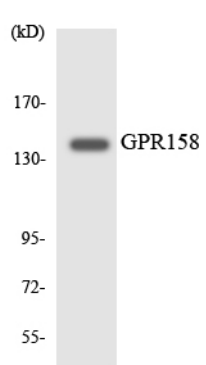
GPR158 抗体を用いた HUVEC 中の GPR158 の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドを用いてブロッキングした画像。



GPR158 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプル。



GPR158 抗体を使用した K562 溶解物中の GPR158 のウエスタン ブロット分析。右側のレーンは合成ペプチドでブロックされています。



GPR158 抗体を使用した HeLa の GPR158 のウエスタン ブロット分析。